

大淀中学校の道

○ 校長室だより ○

発行 平成27年2月5日
校長 勝田昭三

校長室だより「道」では、2号にわたり「保護者・生徒アンケート」の集計結果について、お知らせしてきました。

今号では、生徒が学校生活の中での出来事や感じていることを家族との会話をとおして伝えていることと、保護者の皆様が学校教育への期待を持ち、考えておられることとの意識の違いなどについて、調査結果から考えたいと思います。

保護者・生徒アンケート 集計結果の比較について

生徒が「授業がわかりやすい」と感じ、保護者が「授業わかりやすいと子どもが言っている」では、生徒のプラス傾向77%に対し、保護者56%で、21ポイントの差がありました。

生徒の「先生は授業の仕方を工夫している」保護者の「学校は、学習の仕方を工夫したり、わかりやすい学習指導に取り組むなど、授業を改善する工夫を行っている」では、生徒のプラス傾向85%に対し、保護者は66%で、19ポイントの差がありました。

「学校のきまりやルールを守っている」では、生徒・保護者ともに昨年度低下し、今年度挽回しましたが、保護者アンケートで「よく」を下げているのに対し、生徒アンケートでは保護者とは逆に「よく」を上げました。

保護者の「学校生活が楽しいと言っている」では、3年間で5ポイント下げ、生徒アンケートの「学校生活が楽しい」でも、保護者と同じく5ポイント下げました。

保護者の「子どもの能力や努力を適切・公平に評価している」では3年間で4ポイント上げましたが、生徒の「自分が努力した過程や結果が適切に評価されている」では逆に4ポイント下げました。

保護者の「中学生らしいあいさつ・言葉づかいができる」では、この3年間で「よく」が9ポイント下げましたが、生徒アンケートの「自分からすすんであいさつをしている」では、昨年度下げましたが、一昨年度並みに戻り「よく」で5ポイント上げました。

本校の生徒たちは、全国調査の「家の人と学校での出来事について話をしますか」では、全国平均を4ポイント上回りますが、個人差があることや思春期の心のありようなどといったことで、保護者の方との意識の違いがあると考えられます。

今回ご協力いただきましたアンケートの結果を踏まえ、確かな教育活動に努め、正確な情報発信をして、信頼ある教育活動を推進していくかなければならないと考えています。

今後の取り組み内容は、「学校教育改善アクションプラン」としてお示ししてまいります。

第3回「学校協議会開催」

2月25日（水）19：00～本校多目的室において、今年度3回目となります学校協議会を開催いたします。案件は、「運営に関する計画—最終評価—」「平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について」等です。

なお、傍聴を希望される方は、当日の開会30分前までに、学校事務局までお申し込みください。